

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	徳山工業高等専門学校
	大学等名1(代表大学等)※カナ	トクヤマコウギョウコウトウセンモンガッコウ
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	G135110110203
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山口県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立高専
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	機械制御工学専攻, 情報電子工学専攻, 環境建設工学専攻
	担当教職員名・役職	張間貴史・専攻科長 菊地右馬・専攻科幹事 垣内田翔子・専攻科幹事 宮崎亮一・専攻科幹事 荒木功平・専攻科幹事
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	25
	受入企業等数	29
	受入企業等名	九州大学,九州工業大学,鋼鉄工業株式会社,株式会社奈良機械製作所,徳山商工会議所,レッカスグローブ株式会社,深江化成株式会社,株式会社ニシエフ,株式会社フォノグラム,横浜国立大学,広島市立大学,有限会社TIME,安本建設株式会社,百合建設工業株式会社,株式会社再生工舎,広島大学大学院,株式会社安成工務店,大成建設株式会社,山口県技術管理センター,大旗連合建築設計,あい設計,岩国市役所,時盛建設,中電技術コンサルタント株式会社,株式会社トクヤマ,川田工業株式会社,株式会社巽設計コンサルタント,山口県庁,株式会社地域計画建築研究所
	インターンシップの分類	1.長期(概ね1か月以上)インターンシップ 5.他県をまたぐ広域インターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
	上記以外のインターンシップの分類(記述欄)	
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例:ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	受入企業等の技術的課題に関する調査や試験, 開発業務の補助等。企業により幅がある。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	高等専門学校 専攻科1年

	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	高等専門学校 6単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	本科目は1年次専門科目の必修科目として、授業期間中の6月から2ヶ月間（8週間）、企業等に学生を派遣し実施している
要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	「産業論」（1年次・教養科目・必修科目）の中で、企業の業務等について学ぶ。同科目内でマナー講習も実施している。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	事後、学生からのインターンシップ実習日誌、報告書の提出を求めており、またポスターセッション形式によるインターンシップ報告会を実施している。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	原則、インターンシップ実施期間中に実習先企業等を教員が訪問もしくは、電話による巡回を実施している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	実習先企業等、専攻科長、専攻科幹事による点数評価を付け、総合評価を行っている。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実施期間2ヶ月間以上
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	

	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	授業期間中の6月からの2ヶ月（8週間）の間、1箇所または2箇所の実習先企業等において就業体験を主とする実習を実施している。実習先企業は自主的な探索、各専攻科幹事・指導教員による紹介、企業からの案内により、本人の希望によって決定している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
		4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	原則、インターンシップ中の巡回でアンケートを実施している。成績評価のうち、1/3は実習先企業等による評価である。
7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://syllabus.kosen-k.go.jp/Pages/PublicDepartments?school_id=35	
問い合わせ先	大学等名	徳山工業高等専門学校
	担当部署名	学生課教務係
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	0834-29-6233
	メールアドレス	kyoumu@tokuyama.ac.jp